

平成28年度 三菱・日立理科教室

平成28年8月22日

三菱重工・広島製作所と日立理科クラブが協力し合って、科学の楽しさ・不思議さを体験する夏休み理科教室を毎年、交互に広島市と日立市で実施してきましたが、第5回目となる今年は、8月22日（月）広島市で開催されました。

会場の三菱広島組合会館には、抽選で選ばれた小学4～6年生48名と保護者が集まり、午後1時から5時まで熱心にモノづくりと理科の学習に取り組みました。

前半は、日立理科クラブ担当で、まずクリップモーターを製作しました。エナメル線を巻いてコイルを作り、紙やすりで磨いて出来上がった完成品が見事に回転すると歓声が上がっていました。次に、コップスピーカー作りでは、プラスチックコップにコイルを取り付けてCDラジカセにつなぐとAKBの曲が聞こえました。また、人間の手のひらもスピーカーになって耳をあてると音を聞くことができる実験など、電磁石の不思議を学びました。

後半は、三菱重工の担当で、いま話題になっている三菱MRJ飛行機の学習です。予め、MRJの型印刷された厚紙をはさみやのり付けなどで紙飛行機を作り、飛行距離のコンテストを楽しみました。また飛行機の飛ぶ仕組みについて、簡単な実験なども交えて勉強しました。

参加した児童からのアンケートでは「大変楽しかった」「また参加したい」「難しい内容もよく理解できた」などが寄せられて、みんなが「夏休みドキドキワクワク体験」をして印象に残る夏休みの一日を過ごしました。



コップスピーカーづくり（日立理科クラブ）



音が聞こえたよ～ (日立理科クラブ)



MR J紙飛行機づくり (三菱重工)



なぜ飛行機は飛ぶのかな (三菱重工)



遠くへ飛ばそう。マイ飛行機！ (三菱重工)